



がんば

【第162号】

発行
島原市立第三
小学校育友会
編集
広報部
印刷
正光印刷



特集

パソコン世代

インターネット ツネエレーション



家庭でのインターネット利用調査

アンケートを依頼した総世帯数、333世帯
その内およそ8割の世帯の方々に、貴重な
回答をいただきました。
ありがとうございました。

このアンケートは、インターネットへの
接続状況を調査し、危険なサイトから子ども
たちがちゃんと保護されているかを知るのが、主な
目的です。また、書いていただいたコメントも
一部ですが掲載いたしました。

問1、現在家庭でパソコンをお持ちですか？

はい	いいえ
173世帯 66.3%	88世帯 33.7%
261世帯	

■ 持っている
■ 持っていない



家電化が進み、
より便利で快適な
道具として、パソ
コンが身近なもの
になっていること
がわかります。

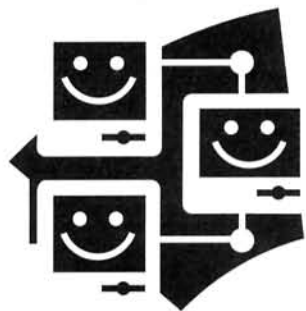
問2、インターネットへ接続していただけますか？

はい	いいえ
120世帯 69.4%	53世帯 30.6%
173世帯	

■ 接続している
■ 接続していない



インターネッ
トへ接続するこ
とが、パソコン
の重要な利用目
的になっている
ようです。



便利なパソコン、インターネット
使い方を間違えると危険です！



問3、子どもも自由に使用できますか？

はい		いいえ	
76世帯	63.3%	44世帯	36.7%
120世帯			



子どもも自由にインターネットを利用し、わからないことを調べたり、また、ある程度条件の下で、興味のあるサイトを見て、自分の時間を楽しんでいることもわかります。

『はい』のコメント

- ・インターネットゲームだけは自由にさせている。
- ・親子いっしょに操作するのを、親子ふれあいの楽しみにしている。



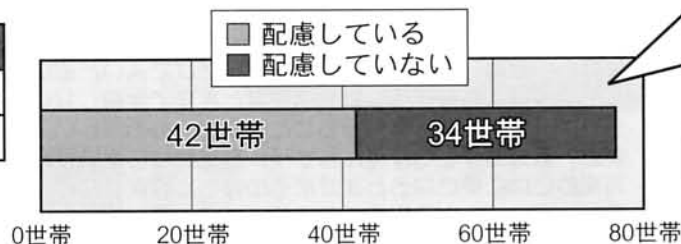
『いいえ』のコメント

- ・子どもは勝手にパソコンの操作をしないように言っている。
- ・親と一緒にでないときはさせないようにしている。使用する目的を聞くようにしている。
- ・長時間操作すると、目に悪い。
- ・有害サイトに行く心配があるので、ネット操作はさせないようにしている。
- ・パスワードで規制している。ネットをすると、100万円だまし取られると脅している。



問4、子どもが危険なサイトを見ないような配慮はされていますか？

はい		いいえ	
42世帯	55.3%	34世帯	44.7%
76世帯			



子どもが自由にインターネットを使っているのに、何の配慮もされていない家庭が、半数を占めています。知らず知らずのうちに、暴力的なHPやわいせつなHP、また、詐欺まがいのオークションサイトなどを見る可能性があります。

『いいえ』のコメント

- ・危険なサイトを規制する必要性を感じているが、していない。(方法がわからない)
- ・ガードの設定方法がわからず、そのままにしている。
- ・許可制にしている。
- ・健全に利用していると確信している。



※HP=ホームページ

子どもに危険なサイトを見せないためには...

1. 物理的に接続をさせない

(保護者不在の場合は、電話回線等物理的に切り離す)



2. セキュリティソフトを導入して、フィルターをかける

長所：登録されているサイトへの接続がソフトによって拒否されます

短所：設備投資に多少の費用がかかり、ある程度のインターネットの知識が必要

☆家電店やインターネット上で入手が可能です



問5、将来購入予定はありますか？

はい	いいえ
47世帯 54.7%	39世帯 45.3%
86世帯	



■ あります
■ ありません



『いいえ』のコメント

- ・小学生には必要ないと思う。それより、4教科の授業時間を増やして欲しい。
- ・便利さは認めるが、操作させていくと、だんだん親が望まない方向に興味膨らんでいくと思う。
- ・パソコンに関する知識だけを学んでしまうのではないか、状況判断を誤ってしまうのではないかと心配だ。

最後の設問、小学生にインターネットの知識が本当に必要ですか？

はい	いいえ
137世帯 56.6%	105世帯 43.4%
242世帯	



■ 必要だ
■ 必要ではない

『はい』のコメント



- ・便利さと同時に危険サイトに行かないように配慮する事が大切。子どもたちの精神面（心）が誤った方向に行かないように、大人が配慮すべきだ。
- ・子どもはゲーム感覚ですぐ覚えるが、親の目の届く範囲でして欲しい。
- ・将来必要不可欠になると思う。
- ・上手に使えば、さまざまな情報を得られる便利や道具である。
- ・インターネットで起こりうるリスク、法律的なことも事例を挙げて教えて欲しい。



『いいえ』のコメント

- ・早打ちのため、指の運動のための練習だけでよいと思います。
- ・パソコンは、将来どうしても必要なときまで学習しないほうがよいと思う。自殺サイトという信じられないサイトが現実にあることを聞き、心の寂しい人が多いのかと思います。また、自分の子どもがそんなサイトを見たりしないか心配です。
- ・将来的には必要になるときが来るのかもしれませんが、以前に比べると授業時間が少なくなっている今、あわてて、小学生の時からインターネットの学習をさせる事が必要だとは、どうしても思えません。

『その他』のコメント

- ・学校でやらなくても、家庭で知識が身に付くだろうと思う。
- ・インターネットを活用して情報を得る便利さは素晴らしいと思うが、自分の目や耳、足を使って（辞典の活用、専門の方々に尋ねるなど）調べる事も学んで欲しい。

恐ろしい調査内容

県教委の調べでは(長崎新聞より)

『家庭でのネット利用調査』(小・中・高・保護者対象)

- ・ネット利用率……………小学4年生で 32.2%
- ・ひとりで利用する割合……………小学4年生で 25%
- ……………小学6年生で 33%
- ・HPの開設……………小学4年生で 7.4%
- ☆それを保護者が把握している……………0.9%
- ・チャットの利用……………小学6年生で 17%
- ・年少児童までネットの利用がかなり進んでいて、保護者は具体的な利用内容を十分把握できていない
- ・保護者のかかわりが極めて希薄

アンケート結果を受けて 校長先生からのコメント

小学校でも、情報教育の一貫として社会科・理科、総合的な学習の時間等の調べ学習でインターネットを使用しています。

子どもたちには、パソコン室の利用約束として、「先生がそばにいないとき、または許可したとき」に限って使用を認めています。

インターネットには、「光と陰」の部分があります。使用に当たっては、①むやみにホームページを開かない。②住所氏名などはよく考えてから入力。③違法なものもある。④嘘や偽りもあることを知らせ、十分な注意を払うことが大切です。

特に、人を傷つけるような情報に「気づく力」、情報が正しいか「見極める力」、そのような情報を「自ら発信しない力」を身につけさせたいものです。

もっと子どもと向き合って！

白山・霊丘地区

家庭教育学級講演会

11/2

「心と身体的主人公になる子どもを育てるためには」と題し、在宅助産師及び長崎大学非常勤講師中村まり子先生の講演会がありました。経験をもとに大変分かりやすく感動的なお話でした。また、多くの皆さんの参加もありました。

参加者の感想の一部を紹介します。



・生きている事を肯定する、生きている事を実感する、そんな『生きる事』すなわち『性』の素敵な話がありがとうございました。

・アイタツチングや尻上りの言葉の大切さがよくわかりました。

・食卓を楽しく、食と会話を楽しめる毎日へしていきたい。また、台所教育の大切さを感じました。

・自分の心の中に自分を見つめる目を持つ、今をきちんと築くことが大切だと感じました。

・先生にいつばいの勇気を与えていただきました。今からスタートです。頑張ります！

【研修部・健康部】

給食試食会

11/10

保護者 森 理江

今回、実際に配膳の準備から、後片付けまで（牛乳パック、パン袋など）、子ども達がやっている姿を見て感心しました。また、メニューも栄養のバランスが良く、薄味で良かったと思います。みんな一緒に食べたので、とてもおいしかったです。給食になって、好き嫌いが減り、とても助かっています。

保護者 林 田 美保

「今日の給食おいしかったよ。」入学当時の娘の声。緊張の中で、ホッとできる時間だったのでしょう。試食会に参加して、そう感じました。給食で、苦手な食べ物も少しずつ克服でき、進んで手伝いをするようになりました。このまま食事の楽しさ、大切さを覚えてくれるといいなあと思いました。



市民音楽祭

11/20



四年一組 山 本 北 斗

十一月二十日、ぼくたちは市民音楽祭に行きました。練習をいっぱいしたから本番で自分の百パーセントの力を出せました。

ふり返ると、一番最初の練習でろくに歌えなかった自分が一ヶ月ぐらいですごく歌えたからとてもうれしかったです。ステージに立ったときは、はずかしさよりも、せつかく練習したんだから本気でがんばろう。と思いました。

四年二組 林 田 剛

ぼくは、初めて文化会館のステージに立ちました。

いよいよ本番。今まで練習してきたことを思い出しながら歌いました。歌っていると、きんちようがとれてきました。「エビバ」

の二部合唱も、「いつも何度でも」もよくできました。最後の曲「エール」に一番力を入れました。

えんそうが終わると、びつくりするくらいおおきな拍手をもらいました。とてもうれしかったです。

四年三組 下 田 朱 莉

本番はリハーサルの時よりきんちようしてたまりませんでした。でも、先生が言ったあの時の「笑顔」の一言で、できると確信できました。今までの練習をむだにしないようにする。それだけが心にありました。失敗してもがんばるぞという気持ちでいっぱいでした。ドキドキもあったけど、成功した市民音楽祭でした。

キラキラちびっ子
おいも祭り

11/1



ごに二十八人もおきやくさんがきてくれてうれしかったです。おいもまんじゅうも、とてもおいしかったです。

小 鉢 みく

キラキラちびっ子おいもまつりでは、わたしは、おいもができるまでを言いました。とてもよく言えたと思います。来年の一年生もがんばってね。

二年二組 安 達 ちひろ

はつびょうの時、はずかしくて声が出なくなりそうでした。でも、春かさんががんばっているのを見て、わたしもズボンにぎりしめて言ったら、声が大きく出せました。

元 田 ゆう大

ボールころがしのお店を出してよかったです。しょう品がなくなるくらい一年生がきてくれました。一年生のみなさん、ありがとう。

二年三組 草 野 ゆうた

ぼくは、たからさがしやさんで、うけつけをしたり、たからをかくしたり、とてもいそがしかったです。おいもまんじゅうをもらって、うれしかったです。

永 友 あすか

くじびぎやに、一年生や大人の人がいつばい来て、うれしかったです。おかあさんも来て、あたりをひきました。ピーズのアクセサリをもらいました。

二年一組 下 田 れん

おいもまつりはとてもおもしろくて、たからまとあてやに、さい



『小児期にみられる大切な症状と疾患』と題して、水田小児科の水田舜助先生により、お話をしていたいただきました。当日の資料は、四十八ページにもなるもので、その中には、小児期の病気の事がわかりやすく書いてあり、先生にはその資料をもとに、スライドも混じえながら、詳しく説明していただきました。そこで私は、「親は子どもの事をいつもよく観察していなければいけない。」「子どもの様子の変化に、いち早く気づいて適切な対応をしていかなければいけない。」また、その為には「医学的な知識も必要だ。」と思いました。

みなさん！先生のお話を書き加えたその資料をもう一度見直し、明日からの生活に役立てていきましょう。

白山家庭教育学級 11/25

【健康部】

《大会結果》

Aバート 優勝 津町有馬船津A
準優勝 浦田上

Bバート 優勝 新山二丁目
準優勝 下川尻

Cバート 優勝 南下川尻
準優勝 栄町B

日程の関係で今年は冬の開催となりましたが、当日は好天に恵まれ、子ども達は運動場で元気一杯のプレーを見せてくれました。

予選リーグから実力伯仲、ハラハラドキドキの激戦が続き、会場は熱気に包まれました。【体育部】



ドッジボール大会 11/28

市P連 バレーボール大会 11/27



図書ボランティアの活動報告

図書ボランティアに参加して 森田 佐記子

図書ボランティアの活動に参加するようになって半年になります。活動は週一回、水曜日の午後から一〜二時間程度となっていますが、私は仕事の都合に合わせて時々顔を出し、読み聞かせや本の整理や修理などをお手伝いしています。その他には、朝の読書タイムの読み聞かせを行なっています。つい先日、読書タイムの読み聞かせをしてきましたが、普段の生活では見られないような子ども達の表情を見ることができた十五分間でした。これからは子ども達が多くの本に触れ合えるよう、お手伝いできればと思います。

長かった夏休みも終わり、二期がスタートしますが、桑原さん、如何お過ごしでしょうか。

夏休み終わりになつての大きな台風は驚くばかりですが、島原のはうは大丈夫でしたか。

さて、交流会におきましては、息子が大変お世話になりました。行く前は、少々、緊張もしていたようですが、あたたかい島原の方々、桑原さん家族の歓迎をうけ、楽しい時間を過ごせたようです。帰ってからは、一週間くらいあつてもよかったな。というようなことを話していました。そして来年は、雄紀君が来るといいな。と言っていました。そしたら、家にも来れるのにとうれしそうに話をしていました。

毎年交流が行われている豊後高田市河内小学校保護者様からのお手紙です。

夏休み、豊後高田の子ども達と交流

台風十八号の影響で、屋上の国旗・校旗掲揚台が破損しました。しかし、早くも九月二十四日には運動場の鉄棒側に新設！運動会に間に合いホッとひと安心！



国旗・校旗掲揚台が新設されました

月日が経つのは早いもので、二〇〇四年が終わろうとしています。今回「が ん ば」の特集で、インターネットに関するアンケートをお願いしました。半分以上の世帯がパソコンを持ち、インターネットを利用されています。

便利な世の中になつてきました、が、使い方を間違えれば大変なことになります。気をつけたいものです。

十一月から第三日曜日に、「家族ふれあいの日」が設けられました。親子でふれあう時間を大切にしたいですね。

来年も皆さんに楽しんで頂ける「が ん ば」を制作していけるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。

(中村元子)

編集後記



自分の撮った写真を送りたいと言いますので、同封しておきます。大分の方に来ることがありましたら、声をかけてください。その日を楽しみにしております。

それでは、ご主人様、雄紀君によりしくお伝え下さい。ありがとうございます。

安東 浩一・浩子